

管理システムの概要

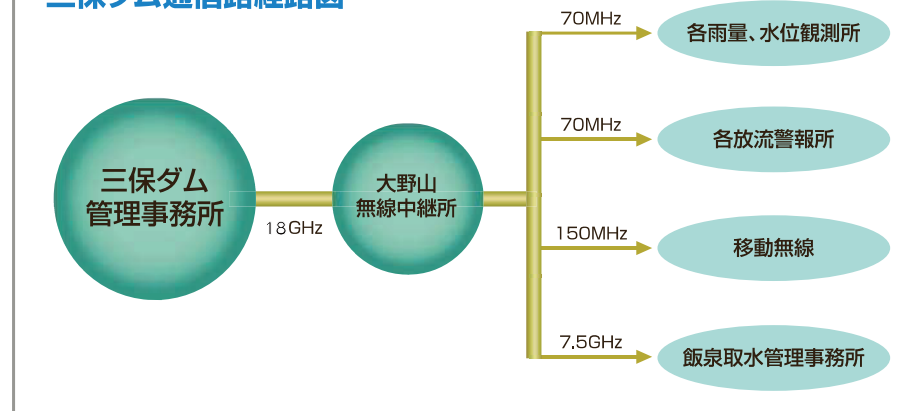
ダムの洪水調節業務は、神奈川県三保ダム管理事務所が行い、利水運用業務は、神奈川県企業庁酒匂川水系ダム管理事務所が行っています。これらの事務所の職員は併任され、管理業務の一体化を図っています。

貯水池の運用にあたっては、酒匂川水系全体の状況を把握するため雨量(9ヵ所)、河川水位・流量(15ヵ所)等の情報を無線回線を通じて15分ごとに収集しています。また、降雨時には、気象状況の変化を把握するため気象情報受信装置(マイコス等)を利用して、水運用に役立てています。

洪水吐ゲートからの放流時は、下流の河川を利用している人々や沿岸の住民に知らせるため、放流警報車及び放流警報所(19ヵ所)を使用して警報を行います。

これらの業務を遂行するため24時間体制で監視及び操作をしています。

三保ダム通信路経路図



システム管理室



計算機室

計算機システムは、利水面で適確な下流基準流量の確保と水の有効利用を、また、洪水時においては、ダム操作規則等に従った、確実なダム操作に利用されています。



平山水位観測所



大野山無線中継所



大口橋放流警報所